

(5) 質問者議員 堀川和彦

件名1 財政事情の厳しい中、市民満足度を高めるために。

- 要旨1 島田市長の2期8年間は財政事情の厳しい中、どのような考えを持って予算編成を行ってきたのか。またどのような方針で、市債償還や基金の積み立てを行ったのか。
- 要旨2 昨年、一昨年と年度途中で交付税の再算定があり、交付された約27億円のほぼすべてを減債基金に積み増ししたが、その意図は何か。交付税の性質から市民サービスに使うことが本来の趣旨と考えるが、どうか。
- 要旨3 上下水道は急激な経営悪化で、令和7年度には水道事業では23.0%、下水道事業では27.0%の料金改定が必要と上下水道ビジョンの見直し案に示されているが、その対応はどのように考えているのか。
- 要旨4 教育委員会から、新たなスポーツ施設を用意するための原資として、赤峰市民広場造成後の産業用地売却益を充てる旨聞いている。昨年行われた住民説明会の折、売却費は23億円、必要経費は8億円、売却益15億円と説明があったが、その後、社会情勢ほか諸事情が変化している。売却益が減る可能性はないか。あるとすればどのような影響があるのか。

件名2 安心・安全な魅力ある河内長野市を目指して。

- 要旨1 能登の大規模地震の後も、各地で頻繁に地震が起きている。全国民が自然災害に不安を抱く中、地盤が固く地震に強い、津波の心配がなく、犯罪が大阪で最も少ない安心・安全のまちをさらにアピールするためにも、上下水道管の耐震化を進め、災害時に市民の水を守るため、医療施設や避難所につながる基幹管路及び、重要給水施設配水管路は早期に耐震化100%にすべきではないか。
- 要旨2 NTN金剛製作所は来年度中にほぼ移転が完了すると聞いている。移転後に利活用されず、工場地内がゴーストタウンの状態になるのは大きな地域のイメージダウンにつながる。NTN本社との話し合いはどうなっているのか。

要旨3 美加の台で同一施設での小中一貫校計画が具体化する。魅力ある学校づくりが必要と考えるが、どのような方向性を持って行うのか。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者